杉並区議会だより

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1

NO.190

平成19年11月11日発行

☎3312-2111 FAX5307-0695

知 5 せ

区議会を傍聴しましょう

本会議や委員会は、定員の範囲 内でどなたでも傍聴できます。

平成19年第 4 回定例会は、 11月27日(火)開会予定です。

(間11月21日以降に区議会事務局へ)

http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/ 携帯サイト http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/mobile/

後期高齢者医

0)

んなでつくる「環境世紀」

発行/杉並区議会

地球を救えp (^-^) q すぎなみ省

編集/杉並区議会事務局

9年10月13日(土)~14日(日)

~ストップ・ザ・温暖化!「今わたしたちにできること」

主催:環境博覧会すぎなみ2007実行委員会/杉並区



環境博覧会すぎなみ2007 躍動感あふれる舞

第3回定例会で審議した議案等の結果

○=賛成 ×=反対 (民主、一部の議案で欠席者あり)

平成19年10月17日議決

番号	議案名等	杉自	公明	民主		社み	杉ク	生ネ	自民	革新	無	杉わ	無区	結果
議案第57号	杉並区行政財産使用料条例の一部を改正する 条例	0	0	0	×	0	0	0	0	×	0	×	×	可決
議案第58号	杉並区事務手数料条例の一部を改正する条例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
議案第59号	杉並区立地域区民センター及び区民集会所条 例の一部を改正する条例	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	×	可決
議案第60号	杉並区産業融資資金条例の一部を改正する条 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
議案第61号	杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 の一部を改正する条例	0	0	0	×	0	0	0	0	×	0	×	×	可決
議案第62号	杉並区立学校設置条例の一部を改正する条例	0	0	0	×	0	0	0	0	×	0	×	×	可決
議案第63号	杉並区立図書館条例の一部を改正する条例	0	0	0	0	0	\bigcirc	0	0	X	\bigcirc	X	×	可決
議案第64号	杉並区立高円寺南保育園外一施設改築及び防 災関連施設建築工事の請負契約の締結につい て	0	0	0	0	×	0	0	0	×	×	×	×	可決
議案第65号	杉並区立高井戸小学校校舎改築及び(仮称)高井戸北自転車駐車場空気調和設備工事の請負契約の締結について	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	×	可決
議案第66号	議会の議決を経た契約の一部変更について	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	×	可決
議案第67号	平成19年度杉並区一般会計補正予算(第2号)	0	0	0	×	×	0	0	0	×	X	X	×	可決
議員提出 議案第6号	第31回オリンピック競技大会の東京招致に関 する決議	0	0	0	×	×	0	×	0	×	×	×	×	可決
議員提出 議案第7号	後期高齢者医療制度の見直しを求める意見書	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	×	可決
議員提出 議案第8号	沖縄戦「集団自決」についての教科書検定に関 する意見書	0	0	0	0	0	0	0	0	×	欠	0	×	可決
議員提出 議案第9号	沖縄戦「集団自決」の日本軍関与を否定する教 科書検定意見の撤回を求める意見書	-	-	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	※議決 不要
議員提出 議案第10号	高校日本史教科書検定における沖縄戦「集団 自決」に関する検定意見の撤回を求める意見 書	_	_	_	_	_	_	_	-	-	_	_	_	※議決 不要
認定第1号	平成18年度杉並区一般会計歲入歲出決算	0	0	0	X	X	0	0	0	×	X	×	X	認定
認定第2号	平成18年度杉並区国民健康保険事業会計歳入 歳出決算	0	0	0	×	×	0	0	0	×	×	×	×	認定
認定第3号	平成18年度杉並区老人保健医療会計歲入歲出 決算	0	0	0	×	×	0	0	0	×	×	×	×	認定
認定第4号	平成18年度杉並区介護保険事業会計歲入歲出 決算	0	0	0	×	×	0	0	0	×	×	×	×	認定
		_	_			_								

議員提出議案第9号、10号は議員提出議案第8号を可決したので一事不再議の原則により議決を要しな

(1602 次定 (会派名・構成人数) 杉自/杉並自民議員倶楽部 (13人)、公明/杉並区議会公明党 (8人)、民主/民主党杉並区議団 (7人)、 共産/日本共産党杉並区議団 (6人)、社み/社会民主党・みどり (3人)、杉ク/区政杉並クラブ (3人)、 生ネ/区議会生活者ネットワーク (2人)、自民/自由民主党杉並区議団 (2人)、革新/都政を革新する会 (1人)、 無/無所属 (1人)、杉わ/杉並わくわく会議 (1人)、無区/無所属区民派 (1人)

17 16 15 日 日 日 5 日 **<10**月> 9 日 3 日 28 27 日 日 日日 Ĥ 百 Ĥ 保健福祉委員会 議会運営委員会 決算特別委員会 12 委員会 委員会 道路交通対策特別 対策特別委員会 委員会 災害対策特別 総務財政委員会 区民生活委員会 災害対策特別 都市環境委員会 決算特別委員会 決算特別委員会 医療問題調查特別 文教委員会 都市環境委員会 決算特別委員会 本会議 本会議 決算特別委員会 清掃・リサイク

19

28日から10月4日にかけては、各常任・特別委員会を開き、 を認定

別委員会を開き、 提案理由の説明を受けた後、 れました。一 初日は、 27日には、条例案、平成18年度各会計歳入歳出決算などの議案が上程され 19年第3回定例会は9月21日から10月17日までの27日間の会期で開催されま 決算特別委員会で審査することを決定し、 特別委員会からの活動報告が行われた後、 般質問は27日までの4日間にわたり、 青木さちえ委員長、木梨もりよし副委員長を互選しました。 関係する常任委員会に付託しました。決算につい

査を行いました。 見の発表がありました。 5日から決算特別委員会で決算審査が行われ、 16日には各会派の代表から意

各議案を原案どおり可決して第3回定例会を閉会しました。 最終日の17日は、各委員会から議案の審査経過が報告され、 追加議案を含む

する条例の一部改正 る必要があるため改正する。 廃棄物処理手数料を改定す

産業融資資金条例の一部改正 廃棄物の処理及び再利用に関 金を創設する必要があるため (19年10月18日施行) れることに伴い、 「責任共有制度」 小口融資資 が導入さ

条例案などの審

直ちに決算特

災害時における組織体制を迅 四百万円。 建築する。 速に整えるため、 場所=高円寺南4 - 4) 保育園外一施設の改築及び 契約の相手方は渡 契約金額は、五億 防災宿舎を

<採択> する陳情 ☆東京オリ 19陳情第

ンピック招致に関

25 21 日 日 27 本 日 亲

本会議

14 日

議会運営委員会

11 日

委員会 災害対策特別

号

条 例

止

学校設置条例の一部改正

杉並第五小学校及び若杉小

(一部の規定を除き20

年

19 年度

会計補正予算

予

辺

野建

設共同企業体。

平成18年度各会計歳入歳出決算

地位の承継の承認申請手数料 を定める等の必要があるため 事務手数料条例の一部改正 温泉の利用の許可を受けた

を設置することに伴い、その

学校を廃止し、

小学校一箇所

名称及び位置を定める必要が

あるため改正する。

20年4月1日施行)

月20日施行) (一部の規定を除き、 19 年 10

18名の議員が質問しました。 区政一般への質問が行わ

契

及び防災関連施設建築工事 高円寺南保育園外一施設改築 約

陳

とおり決定 10 月 17 日 しました。 の本会議で、 次の

地方債の補 財源更正、 億五千百七十二万五千円の追 助成や認定 2号) 加。予算総 ど、14事業 億六千四百 特別養護 正のため。二十五 債務負担行為及び の補正と2事業の 子ども園の助成な 額一千五百五十一 老人ホームの建設 十二万円。

4 日 <9月>

清掃・リサイクル

対策特別委員会

28 24 日 日

文教委員会

総務財政委員会

委員会 災害対策特別

日

委員会 災害対策特別



3 日 日 日 ^8月> 保健福祉委員会 都市環境委員会

杉自/杉並自民議員倶楽部

社み/社会民主党・みどり

革新/都政を革新する会

周知している。今後は、避難 定。広報すぎなみ、チラシで

等と連携を図り進めていく。

正しい投票の周知・訂正

マニュアルの策定等獣医師会

校・馬橋公園で震災訓練・防 19年度は11月4日に馬橋小学 の順で防災訓練の中で実施。

災関係機関訓練の中で実施予

杉並区議会だより 平成19年11月11日 NO.**190**

雇用者を増やしてはならない

民営化・民間委託化で不安定



北島邦彦

選挙だより、投票所でのポス いよう研究していきたい。 ター掲示等で周知。今後とも 権者が投票の際に戸惑わな

事業の矛盾は明らかだ 天下り子会社による売電

五つ星プラン」、「スマートすぎ

なみ計画」は抜本的見直しを

堀部やすし

の計画のまま事業を拡大させ ーも設立され、天下り職員が 出す。そのための第3セクタ 入社している。しかし、現在 よる売電事業に本格的に乗り 東京23区は、ごみ発電に **(**

低賃金化を生み出す民営化・

労働者の不安定雇用化や

計画を見直す考えはない

民間委託化の施策はただちに

ストップさせるべき。

サービスの向上・拡大

ることは危険だ。

杉並区」を実現するためのも

し、「人が育ち 人が活きる

区民ニーズに的確に対応

し、開業以来5年連続の赤字 発電所は、近年ごみ量が減少 収益を確保することを目論ん だ福岡県の大牟田リサイクル である(累積赤字7億円)。 23区に先行して売電事業で

模作業所・精神「障害者」共

同作業所の維持に責任を持て

新事業体系への円滑な移

行を目指し支援を進めていく。

ペット同行避難訓練の状況は

正しい投票方法の周知を

民間委託を進めていきたい。 が期待できる事業は民営化・ 経費の節減、地域の活性化等

区は独自施策である小規

収益性のある効率的な経営が 量を増やすという矛盾した事 透明性をしっかり求めていく 態になれば大問題である。現 必要である。経営については 在の事業計画は再考すべきだ。 赤字を防止すべくゴミ焼却 株式会社であることから、

吉田あい

の今後について 杉並芸術会館と清掃事業

今後の対策について問う。

練の実施状況、

周知方法

災害時のペット同行避難



杉並第六小、永福小、杉森中

平成15年度から沓掛小

井口かづ子 (杉自)

で検討、解決していく。 施設所在区等との課題を23区 り解決すべき課題と廃止後の 区で発生した不燃ごみの受入 施設利用について伺う。 現在の利用区との調整 杉並中継所の廃止にあた

広報紙、区ホームページ、 施設として検討していく。 清掃・リサイクルを推進する な施設であることを前提とし、

決議撤回を求める決議に名を

米下院の「従軍慰安婦」

一政治家としての政治的

解等啓発活動について問う。 の仕方、非拘束名簿式への理

的な事業展開を図り、国際的 設にしたいと考えるが如何か。 な演劇祭の実現も可能になる ネットワークを構築し、積極 準備を進めている。海外の舞 な演劇祭までできるような施 よう努力していきたい。 台芸術関係者などとの独自な ての知名度と評価を得るため 杉並芸術会館を、国際的 日本を代表する劇場とし 度は、被告人の権利を脅 育基本法を教育現場で具体化 があるが、必要なものと認識 く刑事裁判への被害者参加制 信条に基づき行ったもので、 ものであり反対すべき。

救急医療体制の充実を 安心できる介護・健診

することが目的ではないのか。

そのような意図はない。

介護保険の利用料が払え

教育基本条例は、改悪教

被害者参加は様々な議論



くすやま美紀 (共産)

対する対策は。

ずサービスを辞退する人々に

生活援助給付を認めないこと し適切に判断していく。 があってはならないが如何か。 個々の生活状況等を勘案 「日中独居」の高齢者に

予防を目的として実施。ガイ が増えている。医師の確保も 方法等については現在検討中。 ドラインを基本としつつ実施 **答** 糖尿病等の生活習慣病の なげるための項目も実施せよ。 く、他の疾患の早期発見につ ームに特化した項目だけでな 診は、メタボリックシンドロ 産科を閉鎖する都立病院 来年度から実施の特定健

べき。 情報を収集し意見を述べ

改悪教育基本法を教育現場で

らさないよう都に働きかける 含め、都立病院での産科を減



けしば誠

について区の考えを伺う。

どのような顕彰方法があ

を顕彰する記念館建立の要望

彫刻家佐藤忠良氏の偉業

万全か わが区の救急搬送体制は すい環境の整備に努めていく。

介護サービスを利用しや

画に関する住民説明会の開催 状況について伺う。 大宮前体育館移転改築の 荻窪小学校跡地の活用計

られているが、救急出動件数 が増加する中、適切な救急車 イムで把握するなど充実が図 利用のあり方が求められる。 かどうか、実態を含めて伺う。 解を得るよう努めた。 医療機関情報をリアルタ 区の救急搬送体制が万全 高度な救急処置体制の確

(杉自) 対策に今後も取り組んでいく



によって介護、 郵政民営化では千四十八 保育等の質の

負わせず福祉の視点で取り組め 多重債務を自己責任だけに るか検討していきたい。

区政一般について18名の議員が質問しました。

その一部要旨をお知らせします。

区における多重債務問題

が急増するなか、深刻な事例 整備、解決困難ケースの専門 圏 区民に身近な相談体制の れまでの取組はいかがか。 解決が困難な問題である。 に関する現状認識をうかがう 多重債務者・支払不能者 問題解決に向けた区のこ

かす

の取組についてうかがう。 答 どうとらえたか、また、 通じた情報提供などを行った。 務者の発見、消費者教育の充 ログラムを受け、区の役割を 関係部課との連携などの 相談体制の充実、多重債 金融庁が策定した対策プ

「官から民へ」を唱えれば全



如何か。また隣接道路の未整 括と、安全性、信頼性を確保 の数倍化。杉並では民間委託 局で集配業務の廃止、手数料 底容認できない。区は説明責 今後は委託後のモニタリング 低下が問題に。この状況の総 任を果たしていないと思うが m建築は近隣同意なしには到 いて、第一種住専地域での20 の仕組の構築に向け検討する。 するというが方策はあるのか 阿佐ヶ谷住宅建替えにお 行財政計画の成果は着実。

小松久子



個人や家庭だけでは

犯罪被害者支援法に基づ

者センターのホームページを 機関への橋渡し、広報、消費 の税金にはあたらない。 施し効果を上げている。一

な連携、か

な連携の体

てうまくいくわけではない!



原田あきら (共産

負担の公平化?「二重の税金」 家庭ごみ有料化はやめるべき



進を示し、多くの自治体で実 ている。「二重の税金」 民は収入に応じて税金を払っ さざるを得ない人もいる。区 すことはやめるべき。 化というが暮らしの条件で出 国も基本方針で有料化推 ごみ有料化が負担の公平

ティーネット。慎重な対応を 得られるよう努力していく。 規模などにより決定。理解が 計。今後、国の調整交付金の 域連合試算の保険料は区民の 納得を得られるのか。 主訴の的確な把握、相談、 生活保護は最後のセーフ 試算は不確定条件での推 東京都後期高齢者医療広

特別支援教育の方針・計画を トトロの住む家」の保存を

助言等適正な運用に努める。



お答えし、計画案に対する理 策等の様々な質問・要望等に 理由、施設整備に係る環境対

河津利恵子

う意識の醸

成を進めて行く。

ては十分情報を持っていない。

区以外の民間施設につい

現状の検証等を進め、適切な る。「子ども発達センター」の 築は重要な課題と認識してい の積極的な対応について伺う 検討状況・今後の進め方と と具体化のための計画の策定 相談・支援体制を構築したい 管 早期発見と支援体制の構 受け入れが限界に達している 「子ども発達センター」拡充 特別支援教育の基本方針 発達障がい支援の課題

見の考慮を要請。都の指摘に 周知徹底と意向確認、周辺意 は安全確保に努めると答えた。 備を都にどう説明したのか。 建替え組合に地権者への

討してみたい。

者の情報バリアフリー化の取

組について区の認識を伺う。



小倉順子

区民の苦

悩を取り除く

相談体制の充実を!

障害者の情報バリアフリーの

IT機器の活用も視野に入れ

最新情報の収集・提供、

横断的な対 **答** 区民生活上起こる問題が 置について検討すべき。 深刻・複雑化している状況下、 方として、 IT活用を含めた庁内横断的 総合的 応と窓口の土日設 IT等を活用した な相談体制のあり (公明)

取組の推進 答

自殺対策部会で全庁的な が非常に重要。取組を伺う を講じるべきと考えるが。 け、総合的 クールに育てていこう」とい ルづくりの 真に実のあるエコスクー 環境学習の中で「エコス かつ全庁的な対策 ために「環境教育」 を図っていく。

害者のため 行政改革の 今後の展開、視覚障 の情報バリアフリー



中村康弘 (公明)

視点で評価 摘の点も踏 **答** 行政評価、事務事業評価 ムの構築が必要だと思うが。 事業化提案 など効果の マネジメン 行政評! 評価が大切。ご指 トし、全体最適の 制度等を総合的に まえ目標の実現に ・改善するシステ 価、PFI、民間

極的な努力を期待するが。 口の住む家」の保存に向け積 答 総合的 して残すことができるよう検 **答** 区民が心癒される場所と 問 阿佐谷北5丁目の「トト していきた な推進計画を策定 いと考えている。 えるが如何か。

民の声に的確・敏感に応える

八材育成が重要と考えている。

IT技術を活用した障害

育・啓発計画について伺う。

地域を知る力を持ち、区

今後の職員全体の意識教

向けて取り組んでいく。

川原口宏之 実現等に努めていく。 杉並区の防災のあり方



増田裕一 (民主)

総合震災訓練の日程変更は可 地域の事情等を考慮し

日の相談体制を検討したい 自殺を社会問題と位置づ 制強化と夜間・土 つ各機関との綿密 時期なども考慮し、実践的で 効果的な訓練とするよう努力 ている。来年度からは、実施 していく。 様々なご意見をいただい

を把握しているか。設置場所 を地図等に記載すべき。 必要に応じ河川の浚渫を行う。 めに定期的に浚渫(しゅんせ つ)を行うべきではないか。 AEDの区内の設置状況 今後も、治水の観点から 水害を未然に防止するた

民間の設置場所も含め収集し ホームページ等で地図に落と していきたい。 子育て支援の充実と外環

道計画の今後について



努め、同時に子どもの最善の 答 保護者のニーズの把握に テイの導入を検討する考えは。 区独自のトワイライトス 教育は許されない! 戦前の教育勅語に基づく

鈴木信男 (共産)

解を求めていきたい。

め、杉並ルールを策定し理

見直した。区長もどうか。

員はその実現に取り組むこと

公約は区民への約束。職

うにもなじまない。つまり無

理のある公約なのである。事

前相談はしたか。知事も先般

杉並区議会のホームページには、 http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/ きかけるとともに、沿線区市 なしで事業着手された場合、国 共通に行うものが考えられる。 など課題別に外環沿道地域で いきたい。 都に対し措置を講じる考えは。 区長意見に応えるよう働 外環計画が区長意見の尊重

区長公約は金科玉条か ネコとの共生に地域の力を

記載される内容で、不正確な

答 一個人のブログは主観で

努めた。

あたり、着実に事業の推進に 理由2 実施計画の2年目に 営に努めた。

理 由 3

経済情勢を的確に捉

場合もある。質疑は控えたい

奥山たえこ

使わなかった人にご褒美とい 割り相当減額策を発表。しか し区独自の軽減は実現性が低 い。保険は互助的制度であり 「健康家族」の国保料均等 区長は選挙マニフェスト

不可欠。円滑に対策を進める は大きなものがある。共生プ ない。具体化に向け取り組む。 答 ボランティアとの協働が ランの実施などの展望は。 が当然。職員に相談はしてい ネコに対する区民の苦情 答

あてにせず、人的配置やその をしている。ボランティアを り保護者や地域の皆様に支援 ための金銭的保障をすべき。 で学校も保護者も大変な思い 学校図書館IT化の作業 参加意欲の高い分野であ

会議録・審議した議案・会議日程などを掲載しています。 また、各年の活動実績をまとめた区議会年報や区議会だよりのバックナンバーなどもご覧いただけます

ンジ周辺地域を対象、地下水 メンバーと議題項目を伺う。 しながら検討していきたい。 れるが未定。インターチェ 区民や国、都などが考え ないもの。一番良いのは教育 の根源となったもので、いら 基本法をなくし、また、教育 基本法は、戦後に教育勅語を 戦後教育の諸悪

利益という観点、ワークライ

フバランスという課題も考慮

グに、聞いた話として「教育

区長と面談した方のブロ

とあった。これは、教育基本 育を切磋琢磨していけば良い 勅語のようなものをつくる。 悪の根源、教育勅語に基づく 国を愛する心の明記が必要」 とのそれぞれの見解を求める。 良き教育、愛国心の明記必要」 教育基本法が「戦後教育の諸 条例の位置付けを暗示する 教育基本法を改正するなら それに基づき、より良き教

学校図書館に人的保障を 杉並病解決は区としての責務

要望1 行政サービス民間事 果断に取り組んだこと。 え、行財政改革を全庁あげて

松尾ゆり (杉わ)

は、公共の担い手としての責

事業提案の審査に当たって

因糾明については一定の解決 調の方が多く、解決されない 区長の公約。いまだに健康不 が図られていると認識してい のは公約違反ではないか。 原因裁定がなされており、原 **答** 国の公害等調整委員会で 杉並病の「原因糾明」は 振り返り、新しい時代に即応 こと。 要望2 都区制度改革 要望3 施策の成果の検証 て、力強い取り組みを。 者を選定し、協働化を進める 務をしっかりと認識した事業

真の地方分権の確立に向け

るにあたり長期的視野に立ち、

より具体的な財政規律を示す

の二重取りなど反対の声が強 きたい。 い、理解を得て取り組んでい いが、有料化に踏み切るのか。 区民への十分な説明を行 家庭ごみ有料化は、税金 誠意、配慮ある対応を強く求 っては、区民全体の問題とし 望。学校統廃合についても、 て更なる議論の積み重ねを要 要望4 教育 教育基本条例の策定にあた

をいただいている。 める。 めていただき、今後の施策実 責任と誇りを持って区政運営 分留意をされることを願う。 施や平成20年度予算編成に十 派の意見・要望を重く受け止 に協力していく立場のわが会 以上、議会第一会派として

な取組と着実な自治体財政健全化への総合的 運営を評価

財政運営を評価将来を見据えた適切な

杉並自民議員倶楽部

杉並区議会公明党



藤本なおや

ないか、に視点を定め、慎重 区民サービスが停滞しては かつ厳正に審査に臨んだ。 革が適正に進められたか、2 その結果、18年度各会計歳 が公明党は、1行財政改

理由1 歳出の見直し、歳入 歳入歳出決算全てを認定する。

わが会派は、18年度各会計

の確保に努め、慎重な財政運

入歳出決算の全てを認定する

べる。 以下、認定理由と要望を述

理由2 区民の満足度の向上 善に大きな成果を上げた、 理由1 財政指標の更なる改 員定数削減目標の達成等着実 を意識した重点施策への取組 意見・要望①財政改革を進め な自治体経営改革を推進。 政健全化への総合的な取組。 財

確化が必要。地域との信頼関 学校の地域における役割の明 で教育立区」の実現に向けて、 きる目処を。④「地域ぐるみ 点からの負担軽減策の研究、 不安解消のために総合的な観 に働きかけ、具体策を実現で 検討を要望。③一刻も早い治 ことが必要。②生活における 水対策が急務。強力に国、都

した対応を望む。

今までの成果や取り組みを

の大きな力となる。 係の醸成が新しい学校づくり

き、

ことを要望する。 は、今後の区政運営に当たり、 このほかにも、わが会派から 十分検討、留意、反映される の意見、要望、提言について 以上、意見を述べてきたが、

13

12

とを評価

民主党杉並区議団



とから、私たち民主党杉並区 議団は、18年度各会計歳入歳 出決算全てを認定する。 政の健全化が図られているこ 以下、区政全般について 着実に区政運営を進め、財

意見や要望を述べる。 関と連携して、積極的に進め する施策の充実を求める。 ら排出されるCO2削減を。 ひとり暮らし高齢者に対 区民との協働で、家庭か 自殺予防対策を多様な機

をむけず、くらしを応援しな

第1 今の区民のくらしに目

い、基金三昧の財政運営であ

に伸びることが予想される。 活保護世帯数は、今後も確実 出、介護サービスの需要、生

る状況には

ない。

職員の育

当区の財政

は先行き楽観でき

7 学校給食食材は、地元商 店からの購入を基本に。 助員配置の検証と拡充を。 ては議論を深めるため、十分 立支援施策の強化を要望。 ることを要望。 は杉並のカラーで統一を。 に時間をかけることを要望。 景観に配慮し、住居表示 ひとり親家庭などへの自 特別支援教育における介 教育基本条例策定に向け

あり方等を検証し、推進を。 向け監査機能の充実・強化を。 9 NPO育成支援や連携の 十分精査することを要望。 し、効果的な民間委託を。 新たな決算手法の導入に 民間事業化提案制度を検 補助金の使われ方などを 長期的な財政試算に基づ 適切な財政運営の執行を。 ないことを指摘。 校統廃合計画は中止し、学校 条約の理念・原則が欠落して ては、憲法及び子どもの権利 いるなど条例化にふさわしく 選定のあり方の改善を求める。 選択自由化の見直し、教科書 教育基本条例」新設につい

会計歳入歳出決算全てに反対 以上の理由から、18年度各 の健全化が図られたこ

その一部要旨をお知らせします。

決算の賛否について意見の発表がありました決算特別委員会の最終日に、各会派の代表から

た。

会議録の発行会議録の発行

は、区議会ホームページでもご覧いただけます。で会議録をご覧ください(12月下旬発行予定)。こりい内容は、区政資料室、区立図書館、地域区民センター、区発行について 本紙掲載の質問と答弁は、一部を抜粋したもの

河津利恵子

住民のくらしと福祉、健康や 地方自治体の責務は「地域

点から審議した。 スを向上させたか、民主的な 無駄遣いをなくし区民サービ 教育行政が進められたかの観 行政運営の基本にすえたか、 安全を守ること」である。 わが会派は自治体の責務を

> 区債残高は きである。 ど含めて区 葉が定着し フェ難民、

大きく改善されて

財政においては

や本来なら

都区財調で担保さ

れるべき学校の建替費用の支

いるというが、債務負担行為

容認できない。 る。行財政改革は必要だが区 は民間に仕事を売り飛ばすも 第2 スマートすぎなみ計画 の計画は民営化先にありきで ので、自治体の解体を意味す

意識的に動

機付けをし、男女 児休暇については

ともに育児

に積極的に参加で

谷団地問題は、住民の声を十 て対策を。三井の森、阿佐ケ 第4 水害ゼロの目標を持っ 第3 子育て支援の強化、 全国学力テストへの参加と学 第5 師範館はただちに廃止 分に聞くべき。 せるよう施策の見直しを。 害者や高齢者が安心して暮ら

部分は有用性が認められる。

組である。

しかし電子調達の

来ないなど

まだ不十分な仕

取り組む。 スであった。「天の声」はひ とりでは実現できない。職員 年度杉並区 事に尽力されたい。 は、不正の 提示金額か 定決算議案 に落札させるための出来レー は、当初から随意契約であり、 粗大ごみ受付センターの業者 その環境 質疑で明らかにした通り、 よって、 に反対する。 一般会計外、3認 可能性を廃し、仕 らみると特定業者 認定第1号平成18 整備にわが会派も

け、基金積み立ての決区民のくらしに背を向 区民需要に応える財政格差の現状を把握し、 運営を

状を把握し、

実感なき景気回復」、

|格差拡大| の中で区

算に反対する

日本共産党杉並区議団

藤原淳

小野清人

太田哲二

民主党・みどり

の政策は

区政杉並クラブ

いが会派は、

意見を述べる。

格差社会という言

た。路上生活者な

18年度各会計

歳入歳出決算全てを認定し、

福祉問題

区が独自に障害者負担や事業 ①障害者自立支援法に対し、

内の調査を行うべ

税の節税のため、税制度の正 区の根本的義務。 ③17年度の税制改正で高齢者 策の抜本的な確立を求める。 ②社会的弱者に対する住宅政 たことは大いに評価。 への負担が増。所得税・住民 者負担の軽減の支援を実施し い仕組を普及させることは

員不足が深刻。対策を。 護従事者の給料が安くなり人 ④介護報酬引き下げ実施で介

財政問題

きる仕組の構築が必要である。

経費、それに伴い基金にいく 大震災発生時に必要な復旧

金の支払いがオンラインで出

子申請は、

申請ができても料 連営サービスの電

都の共同の

コンピュータの活用の充実を。 価。民間委託・民営化に加え 行政改革 ら積立てたらよいか研究を。 着実に行革が進行したと評

教育問題

関心事であった。今、教科書 の区民の、教育委員会への 採用や師範館の問題等で多く 認識すべき。 信」がゆらいでいることを 学校統廃合問題は、大きな

めすぎていないか。心静かに 自省してみることが必要。 百点満点の理想教育を追い求 新規の教育大改革は必要ない。 また、杉並の教育において、

監査委員の意見

杉並区議会だより

【各会計歳入歳出決算】

本紙を録音した「声の区議会だより」、または点字版「区議会だより」をご希望の方に郵送でお届けしています。 区内在住の視覚障害一、二級の方と特に希望される方が対象ですので、お知り合いの方へお知らせください。(お申し込みは区議会事務局へ)

平成18年度各会計	別蔵人蔵出沢昇額	
歳入決算額	歳出決算額	差引額
151,441,118,216円	141,997,654,282円	9,443,463,934円
47,750,576,509円	45,876,913,459円	1,873,663,050円
38,793,948,050円	38,786,888,654円	7,059,396円
25,684,311,839円	24,789,525,732円	894,786,107円
	歳入決算額 151,441,118,216円 47,750,576,509円 38,793,948,050円	151,441,118,216円 141,997,654,282円 47,750,576,509円 45,876,913,459円 38,793,948,050円 38,786,888,654円

前年度を大幅に下回り、適正 造の弾力性を表わす経常収支 ており、 質収支比率は前年度を上回っ 水準となっている。なお、実 について十分な検討が求めら 比率と公債費比率は、ともに 財政余力の活用方策

の様式は、関係法令に準拠し 営の健全性、財産管理の適正 誤りのないことを確認した。 ては、計数の正確性、財政運 (一般会計) た結果、決算及び各附属書類 性などに主眼をおいて実施し て調製され、計数はいずれも 各会計決算の審査にあたっ

年度比較では、消費的経費で 前年度を、〇・二ポイント下 六・一%の増、歳出は五・ 六十一・一%の増となってい 回っている。性質別経費の前 に対して、九十四・九%で、 国民健康保険事業会計〕 一・五%の増、投資的経費で 前年度と比較して、歳入は

〇%の減となっている。 保険料の収納率は七十七・ 四%である。 老人保健医療会計〕 一%の増となっている。また、 ・一%の減、歳出は 前年度と比較して、

〔介護保険事業会計〕 [総合的判断] %の増となっている。 ・二%の増、歳出は七 前年度と比較して、

革も着実に進められた。 財政指標を見ると、財政構 を目指した区政経営改 監督をされたい。

の保護、 検証、行財政改革の着実な推 その他、指定管理者制度の 協働等の推進と個人情報 新しい財政健全化判 えた検討を要望する。

特別区債の残高は五百十八

四%の増となっている。 九・二%の増、

を〇・二ポイント上回ってい 対しては九七・五%で前年度 る。収入未済額は三十五億二 百万円余で、前年度よりも増 となっている。 歳出の執行率は、予算現額 歳入の収入率は、調定額に 堅実な財政運営に努めたこと 少になっている。

計、老人保健医療会計、介護 にみると、全体としては適正 保険事業会計の決算を総合的 般会計、 表れと評価できる。 以上から、平成18年度の一 国民健康保険事業会

(意見・要望)

達成に向けて、改革の歩みを、 の目標」の三つの戦略目標の 全化の目標」、「職員定数削減 更に着実なものとするよう、 経営改革の目標」、「財政健 層の努力を望む。

重要な課題であり、 り組みを望む。 を果たしていくうえで極めて が基礎的自治体としての責任 都区制度改革についても、 また、「三位一体改革」 力強い取 ゃ X

の検証を行い、適切な指導・ 補助金支出の有効性や区民サ ②財政援助団体等については 料などの収入未済額及び不納 ①特別区民税や国民健康保険 欠損額の減少に向けて、より 層努力されたい。 具体的な要望としては、 ビスの質の確保の観点から

> 運営などにも努められたい。 断比率を視野に入れた行財政

決

議

ンピック東京大会は、我が国

九六四年の第十八回オリ

平和と発展

に貢献する絶好の

京の姿を示

改めて世界の

機会となる

の戦後復興の象徴として開催

【基金運用状況】

第三十一回オリンピック競技

大会の東京招致に関する決議

姿を世界の人々に示し、多く され、生まれ変わった東京の 向けて施策を推進するととも 人が活きる杉並区」の実現に

小さくても力のある区

平成18年度は、「人が育ち

職員の健康管理にも、十分配 慮されたい。 識の向上を図られたい。また、 ③職員の能力開発、コスト意 どに主眼をおいて実施した結 数の正確性、運用の効率性な されていると認められたが、 果、二つの基金は適正に運用 基金運用状況の審査は、計

を通じて世界の人々が相互理 解と友好親善を深め、平和の

経済、

文化が高度に集積する

世界に類を見ない大都市とな

は更なる発展を続け、 そして、これを契機に、東京

政治

オリンピックは、スポーツ

大のスポーツ・文化の祭典で 実現に大きく寄与する世界最

その後、

約半世紀を経て、

施設整備に

関連した江東区豊

6750 - 880

1

は、 費等資金貸付基金」について 「介護保険高額介護サービス 今後、活用状況等を踏ま

19年9月27日に代表監査委員が説明した すると二百七十一億円余の減

歳出は七・

一方、財政調整基金残高は 平成14年度と比較 を議決し、地方自治法第99号 提出しました。 の規定に基づき、 第3回定例会で次の意見書

前年度を大きく上回っている。 高は九十八億円余で、ともに 一百十九億円余、減債基金残 これらは、将来を見すえた 後期高齢者医療制度の見直 を求める意見書

総務大臣

【 内 容】 財務大臣 厚生労働大臣 内閣官房長官 内閣総理大臣

療制度については、全国各地 の施行に向け、後期高齢者医 において準備が進められてい 現在、平成二十年四月から

用は国が責任をもって負担す れるようにするため、その費 齢者が安心して医療を受けら べきものである。 後期高齢者医療制度は、高

された減額分を、被保険者の 衡を調整するため、交付調整 保険料に加算しようとして 所得格差による財政力の不均 は、各都道府県の広域連合の しかしながら、厚生労働省

諸制度の変更とともに高齢者 の負担を増やし、その生活に 分を保険料に加算することは、 国が負担すべき減額

述について、「沖縄戦の実態 る表現である」との検定意見 について誤解するおそれのあ 内 容 文部科学大臣 内閣総理大臣

強く求めるものである。 よって、

関係機関に

の生活実態に即したものにな 保険料の設定は、高齢者

平成19年10月17

平成19年

【提出先】

沖縄及び北方対策担当大臣 衆議院議長

科用図書を審査する教科用図 される高等学校用日本史の教 沖縄戦における集団自決の記 文部科学省は、本年三月三 検定調査審議会において 日、平成二十年度から使用

大きな影響を与えることは必

料等に影響を生じさせないた 府に対し、後期高齢者の保険 次の事項を実現するよう 療養給付に対する定率交 杉並区議会は、政

て別枠で調整額を確保するこ 調整交付金は、国にお

るよう、 料相当とすること。 国民健康保険の保険

沖縄戦「集団自決」について 教科書検定に関する意見書

視察先

北海道旭川市

北海道札幌市

広島県尾道市

大阪府堺市

兵庫県姫路市

福岡県北九州市

広島県廿日市市

京都府京都市

広島県呉市

島根県出雲市

参議院議長

委員会名

総務財政

区民生活

保健福祉

都市環境

文 教

沖縄戦の記述に関して、速や 用日本史教科用図書における かに対策を講じることを強く 年度から使用される高等学校 会及び政府に対し、平成二十 求めるものである。 よって、杉並区議会は、 玉

付は、十二分の四を確保する 国内唯一の地上戦が行われた追い詰められた戦争末期 理解し、その動きを注視する する沖縄県民の願いを十分に を付し、日本軍の関与を削除 ものである。 する修正を行った。これに対

なられた方々への思いを真摯 ない事実であり、心からの哀 れたことについては、紛れも 多くの戦没者、犠牲者が生ま 重みを日本国民全体で享受し に受け止め、その体験の持つ 尽くしがたい境遇におかれ 沖縄において、県民が筆舌に たなければならない。 平和を希求する思いを強く持 悼の意を表するとともに亡く

> 調 查

①携帯観光ナビシステム「どこでも博物館」による観光振興について

①地域づくり・まちづくりにつながる景観形成の取り組み状況について②「エコセンターはつかいち」について

①持続的発展が可能な都市の実現を目指した京都市地球温暖化対策について ②「バイオガス化技術実証研究プラント」及びバイオマスエネルギーの研究事業について

①市税督促業務における民間活用について(市税コールセンター)

内 容

常任委員会行政視察

①統合型GIS(地理情報システム)の構築について

②知的資源の活用に向けた産学官の交流と連携について

①市民憲章に根ざした自治基本条例について

②尾道商業会議所記念館事業について

②ヤングJOBステーションについて

②「ウェルとばた福祉ネット」について

②出雲科学館を中心とした理科/生涯学習について

①子育て支援策について

①子育て支援策について

①小中一貫教育校について

②海事歴史科学館について

①教育行政改革について

②すこやかセンターについて

②組織及び人事制度の見直しに

とは、我々に課せられた重要 教訓とすることの重要性や 役割を担っている。沖縄戦に を子どもたちに教えていくこ 平和を希求することの必要性 おける「集団自決」の事実を もたちに事実を伝える重要な 正しく伝え、 な責務である。 教科書は、未来を担う子ど 沖縄戦の実相を

~9日(金)

11月12日 (月)

10月30日 (火) ~11月1日(木)

10月30日 (火)

~11月1日(木)

10月29日 (月)

~31日 (水)

~14日 (水)

平成19年10月17日 え環境にやさしく成熟した東 世界平和を希求する強い意思 文化、先端技術を世界に発信 するとともに、戦後一貫して クを開催することは、我が国 東京におい と、多くの がこれまで培ってきた伝統や 都市問題を乗り越 て再びオリンピッ

ものである。

右、

決議する。

平成19年10月17

 \mathbb{H}

区議会は、二〇一六年開催の 諸課題の解決を期待し、杉並 洲における土壌汚染問題等、

第三十一回オリンピック競技 大会の東京招致を強く求める

の国民に感動と自信を与えた。 健やかな成 動を与え、 来を担う子 リンピック 活きる杉並区」の実現に向け、 のアスリー 区が目指す 大きく貢献 また、杉 今後、具 するものである。 長を促すなど、本 どもたちに、世界 の東京開催は、 並区にとって、 体的な財政計画や、 スポーツを通じた 「人が育ち 人が の姿が大きな感 未 才

> お 知 5

せ

 \Diamond 電話番号変更

井 山田なおこ議員 口かづ子議員(杉自) 5382 - 2824 (民主)

◇住所・電話番号変更 高円寺北2 - 3 - 19